

100

つなぐ「奉仕の心」これからも

2024年向陽高等学校創立100周年



風に向かって

学校法人向陽学園

歴史編集室発行

TEL.0957(52)3210

あなたの「なりたい!」をかなえる7つの学科



私達が全力で進路サポートします。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策でオープンスクール(キャンパス)が開催出来ません。(高校は「Webオープンスクール」公開7/10より)
そこで、本学園の在校生に向陽学園での生活や、各科の特色等を紹介してもらいます。



【福祉科】「介護を必要としている人の 笑顔と幸せを支える 介護福祉士になりたい」

福祉科3年 岩崎 麗央奈

私は、将来は介護施設で働きたいと考えています。そのために、クラスの仲間たちと一緒に、介護の知識や技術を学び、介護福祉士の国家試験合格に向けて勉強を頑張っています。部活動はバレーボール部に所属しています。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高総体という3年生にとっては大事な大会が中止になり、とても悲しい気持ちでいっぱいです。しかし、代わりの大会があると聞き、そこに向かって、気持ちを切り替えて頑張っています。



向陽高校は4年後の2024年に創立100周年を迎えます。長い歴史の中で、多くの先輩方が卒業され、私が実習に行った介護施設でも向陽の卒業生の方が働かれていました。現場で活躍されている先輩方が、同じように向陽高校で学ばれたと思うと、介護職員を目指す私たちも大きな勇気が湧いてきます。その先輩方が築き上げてきた建学の精神である「奉仕」の心を、新しい世代に伝えていけるように頑張っていきたいと思います。そして、向陽高校で学んだことを介護の現場で活かして、社会へ貢献できるよう努めていきます。

写真は令和元年度卒業アルバムより

約60日間の
施設実習で学ぶ

思いやりのこころ

人を支えるプロとしての意識

【調理科】「こころをこめた料理で お客様に笑顔を届ける 調理師になりたい」

調理科3年 池田 杏実



レストラン実習

向陽高校は、1924年に創立され2024年に「創立100周年」を迎えます。私が在籍している調理科は、2003年に設置されました。私は調理科の第16回生として入学し、向陽高校の歴史を感じながら日々勉強に励んでいます。私が入学しようと思ったきっかけは、調理のプロの先生方に技術を学ぶこと。そして、充実したカリキュラムであること。また、就職へのサポートはもちろん、大学進学へのサポートも充実していたからです。私は、中学生の頃から将来管理栄養士の道に進みたいと思っていたので、向陽高校の調理科は、大学進学も調理の技術習得も叶う、夢に一番近づく学校だと思いました。

入学してからは、楽しみにしていた調理実習の授業で、1年生の時には日本料理、2年生の時には西洋料理と



すし実習、3年生になってからは中国料理と特定給食(集団調理)を学んでいます。どの実習も、それぞれの先生方のプロの技術に刺激を受けています。「食べる人の気持ちになって料理を作れ」と常々教えられ、おもてなしの心を学んでいます。このことは向陽高校の「奉仕の心」にもつながっていると思います。



また、日々の授業では、同じ夢を持つ仲間と楽しく授業を受けています。クラスは男女仲がよく、先輩後輩の立場も和やかな雰囲気、よりよい学校生活を送れていると感じています。私は来年高校を卒業して、23歳になった時に向陽高校が100周年を迎えます。その時、卒業生として100周年を迎えた向陽高校を見るのがとても楽しみです。

写真は令和元年度卒業アルバムより

【パティシエ科】「こころをこめたスイーツで多くの人に幸せと笑顔を届けるパティシエになりたい」

パティシエ科3年 一ノ間 愛美



私が向陽高校に入学しようと思った理由は、普通教科を学びながら製菓実習等の専門教科を学ぶことができることを知り入学しました。2年次では、1年次に学んだお菓子作りの基本を生かして各班で競い合う「向陽スイーツチャンピオンコンテスト」があります。テーマに合ったスイーツを班毎に一から考えて試作を繰り返します。コンテスト当日には、たくさんの先生方に審査していただくので緊張しますが、スイーツを作り上げると達成感を得ることができます。2年次は、コンテストだけでなくパティシエになるために必要な「製菓衛生師国家試験」も受験します。私は、試験日までクラス全員で何度も過去問題を解いて勉強しました。おかげで「製菓衛生師国家試験」に合格することができました。私は、これから向陽高校で学んだことを生かし、色々なお店で修業を積み、将来自分のお店を持てるよう努力していきたいと思います。



写真は令和元年度卒業アルバムより

【看護科】「患者さんに笑顔と元気を届ける看護師になりたい」

看護科3年 秀島 英



向陽高校の看護科は50年以上の歴史があります。5年一貫教育であるため最短で看護師国家資格を取得できます。それだけでなく、一次救命処置の国際ライセンスも取得することができます。そのため、各病院施設で実習を行うことで、たくさんの経験を積み、学びを深めます。そして、年に数回看護科全学年でのグループ学習などがあり、上級生に直接教えてもらうことで、お互いの理解度を高めることもできます。看護科は学習の面だけでなく、各学校行事にも常に全力で取り組んでいます。体育祭では毎年優勝しており、昼休みや放課後、時間を惜しんで練習します。同じ夢を持つ仲間が身近にすることで、ともに高め合うことができ、平成30年の看護師国家試験では合格率100%を達成することができました。先生方も、常に私たちに寄り添って支えてくださいます。皆さんも、私たちと一緒に向陽高校で看護師になる夢を叶えませんか。

写真は令和元年度卒業アルバムより



<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

沖迫 里実 先生（家庭、剣道部顧問）

向陽高校剣道部は、日々多くの指導者や関係者にご協力いただき活動しています。剣道部の武旗は「素心探求」です。これは「素直な心で探求心を持ち、自分を向上させていく」という意味で、部員には常に言い聞かせ、また剣道を通して人間力を向上させる事にも努めて稽古に取り組んでいます。

現在の稽古場所である講堂は以前は半分は物置だったそうです。剣道部初代顧問である桑戸先生がその物置を整理し現在の講堂があります。また、かつては長崎県高校総体で平成12年に団体優勝をし、インターハイに出場をした事もあります。近年では、大きな結果を残せていませんが、個人戦などで結果を少しずつ残しています。また、横断幕を見かけた大村市内の方や歩行者から声をかけて頂き、部活動に注目して応援して下さいることを改めて感じるがあります。そして、数年前から地域に根差した部活動でありたいという思いから、月に一度、大村市内の女子剣士を中心に合同稽古を行っています。稽古の後、何かしら得るものがあったり、楽しかったと思って帰ってもらえるよう企画をしています。この稽古会を楽しみに待っている子どもたちも多くおり、いずれこの子どもたちが向陽高校に憧れを持って入学し、剣道部を盛り上げてくれると嬉しいです。今年度は、県内各地から部員が集まり、日々の稽古や対外試合で盛り上がってきました。

100周年に向けて、剣道部が地域から愛され活動する部になるよう、これからも稽古に邁進していきます。



向陽は、夢にいちばん近い学校です。